堅下南小学校

校長室だより

R7．6．24　No．7

小中一貫教育①

本校は、柏原市が全校的に取り組んでいる小中一貫教育のモデル校として、平成２２年度から小中一貫教育を実施して、１５年が経過しました。その間に新型コロナウイルスによる臨時休校や児童・生徒数の減少など、様々な変化がありました。しかし、時代に合わせて、継続可能な取り組み、今だからできる取り組みを模索して、今に至っています。その取組みの一端を紹介します。

５月２９日（水）３０日（木）の２日間、児童会・生徒会が合同であいさつ運動を行いました。小中混合で２グループ作り、小中それぞれであいさつをおこないました。特に小学生は、朝に中学校へ行ってあいさつ運動をするのは緊張したかもしれません。そこはうまく中学生がリードして、穏やかな雰囲気の中、あいさつ運動は終了しました。

６月５日（木）には中学２年生と小学３年生との交流会が南中体育館で行われました。２年前は小６と小１で、小１の時とてもお世話になりました。２年たって、お互いに成長した姿を見せてくれています。

中学生の司会のもと、小中混合のグループで空き缶積みや風船リレーなどで楽しいひと時を過ごしました。２学期にも交流会が予定されています。

土曜参観

６月２１日（土）の土曜参観に、保護者の皆様が多数お越しいただき、ありがとうございました。おかげさまで、無事終了することができました。今回は、ほとんどの学年で、担任以外の先生の授業を見ていただくことができました。